

2026年6月29日

株式会社エフピコ

2025年度「CDP サプライヤーエンゲージメント評価」
において、最高評価の
「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に選定
～3年連続の選定～

株式会社エフピコ(本社:東京都新宿区、代表取締役会長:佐藤守正、以下「エフピコ」)は、国際的な非営利団体CDPが実施する「サプライヤーエンゲージメント評価」において、サプライチェーンにおける気候変動問題への取り組みが評価され、最高評価である「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に3年連続で選定されました。

「サプライヤーエンゲージメント評価」は、企業がサプライヤーと連携し、気候変動の課題に取り組む度合いを評価するものです。気候変動に関する質問書への回答をもとに、「ガバナンス」「ターゲット(目標設定)」「スコープ3排出量」「リスク管理プロセス」「サプライヤーとのエンゲージメント」の5分野で評価が行われます。



エフピコグループは、2022年3月に気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言へ賛同表明し、「2031年3月期までにCO2排出量(Scope1・2)を2020年3月期比31%削減」および、「2050年度までにCO2排出量(Scope1・2)の実質ゼロ」の目標の下、「エフピコ・エコアクション2.0」を掲げ、製品・SCM調達・生産・物流・販売・オフィス各部門のWG(ワーキンググループ)が自主目標を立案し、環境問題の解決に向けた取り組みを推進しています。

なお、CDPは企業の環境対策についてテーマ別評価も実施しており、エフピコは気候変動に対する先進的な取り組みと透明性の高い開示が評価され、「気候変動」および「水セキュリティ」に関する調査において、いずれも最高評価に次ぐ「A-(リーダーシップレベル)」に選定されています。本件については、2026年1月28日にニュースリリースを実施しております。

エフピコグループでは、「エフピコ方式のリサイクル」に加え、小売企業と協働して水平リサイクルを進める「ストアtoストア」を拡大することで、廃棄物削減及び再資源化に取り組んでおります。さらに化学物質や有害廃棄物の削減に努め、自然環境の汚染や健康被害につながる汚染の削減及び回避にも取り組んでまいります。今後もステークホルダーの皆様と連携し、持続可能なバリューチェーンの構築と環境問題への対応をより一層強化してまいります。

■環境における取り組み

<https://www.fpco.jp/esg/environmenteffort.html>

■TCFD 提言に基づく情報開示

<https://www.fpco.jp/esg/environmenteffort/tcf.html>

■CDP について

CDP は、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを有する国際的な非営利団体です。2000 年の設立以来、CDP は資本市場と企業の購買力を活用することで、企業が環境影響を開示し、温室効果ガスを削減し、水資源や森林を保護することを促進する取り組みを先導してきました。CDP は TCFD に完全に準拠した質問書に基づく世界最大の環境データベースを有し、CDP スコアは、持続可能で柔軟性が高い脱炭素社会の実現に向けて投資や調達意思決定を促すために広く活用されています。

以上

【本リリースに対するお問い合わせ先】

■株式会社エフピコ サステナビリティ推進室 TEL:03-5325-7809